

第4章 生活環境影響調査項目の選定

対象施設に関する生活環境影響要因と生活環境影響調査項目との関連を整理し、調査項目を設定した。

対象施設は「破碎・選別施設」であることから、「廃棄物処理施設生活環境影響調査指針」（平成18年9月 環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部）に示された破碎・選別施設における標準的な調査項目を基に、対象施設の状況を考慮して、表4-1に示すとおり調査項目を選定した。

調査項目の選定理由または選定しなかった理由を、表4-2に示す。

表4-1 生活環境影響要因と生活環境影響調査項目

生活環境影響調査項目		生活環境影響要因	施設排水の排出	施設の稼働	施設からの悪臭の漏洩	廃棄物運搬車両の走行
大気質	粉じん			○		
	二酸化窒素 (NO ₂)					○
	浮遊粒子状物質 (SPM)					○
騒音	騒音レベル			○		○
振動	振動レベル			○		○
悪臭	特定悪臭物質濃度・臭気指数 (臭気濃度)				○	
水質	生物化学的酸素要求量 (BOD)		—			
	浮遊物質量 (SS)		—			

注) ○及び—：破碎・選別施設における標準的な調査項目

○：生活環境影響調査を実施する項目。 —：生活環境影響調査を実施しない項目。

出典：「廃棄物処理施設生活環境影響調査指針の解説」（平成18年9月、環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部）

表 4-2 生活環境影響調査項目の選定理由または選定しなかった理由

生活環境影響調査項目 及び生活環境影響要因		設定の 有無 ^注	選定理由・選定しない理由	
大 気 質	施設の稼働	粉じん	○	対象施設の稼働に伴う粉じんについて、稼働時間延長による生活環境への影響を検討するため、調査を行った。
	廃棄物運搬 車両の走行	NO ₂ SPM	○	廃棄物運搬車両の走行に伴う排ガス（NO ₂ 、SPM）について、車両台数増加による生活環境への影響を検討するため、調査を行った。
騒 音 ・ 振 動	施設の稼働	騒音レベル 振動レベル	○	対象施設の稼働に伴う騒音・振動について、稼働時間延長による生活環境への影響を検討するため、調査を行った。
	廃棄物運搬 車両の走行	騒音レベル 振動レベル	○	廃棄物運搬車両の走行に伴う騒音・振動について、車両台数増加による生活環境への影響を検討するため、調査を行った。
悪 臭	施設からの 悪臭の漏洩	特定悪臭 物質濃度、 臭気指数	○	対象施設からの悪臭の漏洩について、稼働時間延長による生活環境への影響を検討するため、調査を行った。
水 質	施設排水の 排出	BOD, SS	—	対象施設からの排水は、下水排除基準に適合させたうえで公共下水道に放流し、公共用水域への放流は行わない。 そのため、水質については調査を行わないこととした。

注) ○：生活環境影響調査を実施した項目。 —：生活環境影響調査を実施しなかった項目。